

平成19年度決算を認定

一般会計 歳入74億3616万円
8特別会計 歳出72億3703万円
総額 歳入74億3616万円 歳出72億3703万円
を認定

決算は適正

監査の審査報告

審査に付された平成19年度一般会計及び8特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、各会計実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、法令に準拠して作成されており、その係数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果誤りのないものと認められる。

監査委員 柴田 晃
監査委員 小玉 勇



監査委員から町長に審査意見書を提出

特別会計

収入済額 33億122万円
支出済額 32億5877万円

(単位：円)

会計名	収入済額	支出済額
国民健康保険	869,588,797	852,686,389
老人保健	988,245,584	988,245,457
次子簡易水道	6,660,651	6,659,889
学校給食	96,344,281	96,344,023
農業集落排水事業	160,014,233	159,956,329
国営村山北部土地改良	100,475,632	100,415,126
大石駅前土地区画整理事業	498,883,770	498,883,491
介護保険	581,012,087	555,580,527
合計	3,301,225,035	3,258,771,231

一般会計

収入済額 41億3494万円
支出済額 39億7826万円

(単位：円)

区分	収入済額	区分	支出済額
町税	707,082,472	議会費	92,808,369
地方譲与税	57,920,000	総務費	567,017,701
地方交付税	2,017,931,000	民生費	812,044,928
分担金及び負担金	74,589,490	衛生費	376,610,114
使用料及び手数料	22,658,865	労働費	10,229,140
国庫支出金	197,999,218	農林水産業費	223,172,478
県費支出金	199,915,564	商工費	41,222,785
町債(借入金)	342,800,000	土木費	424,566,270
交付金関係	115,247,600	消防費	189,961,901
繰越金・その他	398,791,344	教育費	452,402,964
		災害復旧費	3,674,261
		公債費	784,551,038
合計	4,134,935,553	合計	3,978,261,949

平成19年度各会計決算については、議長を除く9人の委員で構成する決算特別委員会に付託し、さらに各常任委員会ごとに2つの分科会を設けて慎重に審議しました。
最終日の18日には決算特別委員会から審査結果の報告が行われ平成19年度の各会計については原案のとおり認定しました。

財政健全化判断比率

健全化判断比率	平成19年度	早期健全化基準
実質赤字比率	— (%)	15.0 (%)
連結実質赤字比率	— (%)	20.0 (%)
実質公債費比率	20.0 (%)	25.0 (%)
将来負担比率	139.4 (%)	350.0 (%)

- ※ 実質赤字比率……一般会計等の実質赤字の比率
- 連結実質赤字比率……全ての会計の実質赤字の比率
- 実質公債費比率……公債費及び公債費に準じた経費の比重を示す比率
- 将来負担比率……地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債をとらえた比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、今年度より議会に報告された平成19年度大石町の財政健全化判断比率は、そのいずれもが国で示した早期健全化基準を下回るものであることが報告されました。

財政健全化判断比率
国の基準より全て下回る

決算規模

一般会計、特別会計を合算した決算規模は、歳入74億3616万円、歳出72億3703万円、歳出72億3703万円、前年度に比べると歳入では0.4%（2926万円）、歳出0.6%（4040万円）で共に減となっている。

会計別では、前年度と比較すると一般会計及び特別会計の総計は歳入歳出とも減となっている。一般会計より特別会計への繰出金は4億7357万円、前年度に比べ6.7%（3392万円）減となっている。

委員会審査結果の報告



平成20年第3回定例会本会議から付託された認定議案9件について、さる9月11日に全体審査を行い、さらに9月12日及び16日の両

日に各常任委員会を單位とする分科会を開催し、詳細に審査を行いました。各分科会の審査結果は、いずれも原案のとおり認定すべきであるとの報告であり、本特別委員会としても、いずれも原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

決算特別委員会
委員長 小林 征雄